

- 問1 東南アジアの諸国では、かつての植民地支配の影響などもあり、特定の農作物を輸出して外貨を得る仕組みが残っています。カカオのように、自分たちが食べるためではなく、売却することを目的として栽培される農作物の分類名と、その特徴の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2025年 鹿児島県公立入試 類似）
- 園芸作物と呼ばれ、都市近郊のビニールハウスで、成長を早めるために高度な技術を用いて栽培している。
 - 商品作物と呼ばれ、熱帯の気候に適した特定の作物を大規模な農園などで栽培し、世界中に輸出している。
 - 工芸作物と呼ばれ、涼しい高原地帯の気候を利用して、主に国内の工場向けに原料として供給している。
 - 食料作物と呼ばれ、主食となる稲などを家族で消費するために、小規模な土地で栽培している。
- 問2 東南アジアにおける日本企業の進出について、従業員の平均賃金が比較的高いシンガポールに比べ、平均賃金が低いベトナムやインドネシアなどの国々で日本企業の進出企業数が顕著に増加している傾向があります。このような動向が見られる、製造業を中心とした経済的な理由として、最も適切なものはどれですか。（2024年 群馬県公立入試 類似）
- 製品の生産コストを抑えるため、労働力が安価な地域へ生産拠点を移しているため
 - 現地の高度な情報通信技術を活用し、シンガポールに代わる研究開発の拠点を構築するため
 - 現地の人口が非常に多いため、労働賃金の高さに関わらず最大の消費市場として期待されているため
 - 地下資源が豊富で、鉄鉱石や石炭の原料を安く確保できる地域へ工場を移転させているため
- 問3 インドの生活文化に大きな影響を与えているヒンドゥー教において、自然環境であるガンジス川が人々の信仰の中で果たしている役割として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
- 東南アジア諸国へ布教を行うための唯一の航路として、宗教儀礼に基づいた造船技術を発展させる場となっている。
 - 川の氾濫を鎮めるために、他の地域から伝わった仏教の教えに基づき、大規模な寺院を建立する中心地となっている。
 - 唯一神から授かった聖地として、砂漠の中にある貴重な水源を管理するための厳しい戒律の象徴となっている。
 - 川そのものを神聖なものとして崇めており、水に浸かって罪を洗い流し心身を清める沐浴の場となっている。
- 問4 1986年に「ドイモイ（刷新）」と呼ばれる政策を導入して市場経済化を進めたベトナムでは、2000年から2018年にかけて日系企業の進出が急速に拡大しました。この背景にある、ベトナムの経済状況と日本との関係についての説明として最も適切なものはどれですか。（2022年 鳥取県公立入試 類似）
- 一人当たりの国内総生産がタイやマレーシアより低く、安価で豊富な労働力を求めて多くの日本企業が進出した。
 - 進出日本企業数が急増した理由は、ベトナムが東南アジアで最大の人口を持ち、最大の輸出相手国が日本のみ限定されているためである。
 - 一人当たりの国内総生産がすでに日本と同水準に達したため、日本企業は製造拠点としてではなく、主に高級品の販売市場として進出している。
 - 主な輸出相手国は中国とアメリカに限定されており、日本との貿易額はドイモイ政策の開始以降、減少傾向にある。
- 問5 中国の米の生産と流通に関する説明として、統計的な背景に基づいた正しい記述を次から選びなさい。（2018年 静岡県公立入試 類似）
- 生産された米の多くを輸出に回す「世界の食糧庫」としての役割を担っており、世界最大の輸出国である。
 - 世界生産量の約3割を占める世界最大の生産国であるが、巨大な国内消費のため輸出量は少ない。
 - 広大な土地があるものの米の自給率は低く、消費量の過半数を東南アジアからの輸入に頼っている。
 - 農業の近代化が遅れているため生産量は世界的に低いが、外貨獲得のために無理な輸出を行っている。
- 問6 東南アジア諸国連合（ASEAN）の一員であるベトナムの経済的な特徴について、各国の経済状況を説明した次の文のうち、ベトナムに該当するものを一つ選びなさい。（2021年 新潟県公立入試 類似）
- 外国からの直接投資や企業進出を積極的に受け入れることで、工業化を推進している。
 - アンデス山脈などの広大な高地において、伝統的な放牧を中心とした産業を営んでいる。
 - 欧州連合（EU）に加盟しており、共通通貨の導入によって近隣諸国との経済統合を進めている。
 - ペルシア湾岸に位置する資源国であり、原油の輸出が国家財政の大部分を占めている。
- 問7 インドにおいて人口の約8割を占める宗教の特色と、その周辺国への影響について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2022年 長野県公立入試 類似）
- 釈迦によってインドで開かれた宗教であり、現在はインドよりもタイやミャンマーなどの東南アジアで広く信仰されている。
 - 多神教であり、牛を神聖な動物として大切にする習慣があり、生活習慣や食文化に強い影響を与えている。
 - パキスタンやバングラデシュにおいて、人口の大部分が信仰している宗教と同一である。
 - 唯一絶対の神を信仰する一神教であり、インド国内では約15%を占める第2の宗教となっている。
- 問8 インドの紙幣には英語が表記されており、主要都市のベンガルールにはアメリカ合衆国の企業が多く進出しています。インドでこうした情報通信技術（ICT）関連の業務が大きく発展した背景についての説明として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2022年 宮崎県公立入試 類似）
- 共通語として英語が普及していることや、アメリカ合衆国のシリコンバレーとの時差を利用してデータ処理などの業務を効率的に引き継げるため。
 - 共通語としてアラビア語が普及していることや、近隣のアジア諸国とリアルタイムで同時に通信できるため。
 - 共通語としてスペイン語が普及していることや、ヨーロッパ諸国と全く同じ時間帯で業務を行えるため。
 - 共通語として中国語が普及していることや、南半球に位置するオーストラリアとの季節の違いを利用できるため。
- 問9 21世紀に入り、広大な国土と世界最大級の人口を背景に急速な経済成長を遂げている国を指します。ブラジル、ロシア、中国、南アフリカ共和国とともに「BRICS」の一員として数えられる、アジアに位置する国はどこですか。（2022年 岐阜県公立入試 類似）
- ベトナム
 - 韓国
 - シンガポール
 - インド
- 問10 江戸時代の日本が、長崎の出島を通じて貿易を行っていたヨーロッパの国は、現在の東南アジアにある特定の国を植民地として支配していました。そのオランダの植民地支配を受けていた歴史を持ち、現在は東南アジアで最も人口が多い国はどこですか。（2018年 長崎県公立入試 類似）
- インドネシア
 - フィリピン
 - タイ
 - ベトナム
- 問11 ある農産物の生産データにおいて、メキシコやペルーなどのアメリカ大陸の国々と比較した際、タイで約3300万トン、パキスタンで約1400万トンと、アジアの国々で圧倒的に多く生産されている特徴をもつ作物はどれですか。（2026年 徳島県公立入試 類似）
- 小麦
 - いも類
 - とうもろこし
 - 米

答え合わせ・解説

問1	答え 2 商品作物と呼ばれ、熱帯の気候に適した特定の作物を大規模な農園などで栽培し、世界中に輸出している。	カカオや天然ゴムのように、輸出や販売を目的として栽培される作物は「商品作物」と呼ばれます。東南アジアでは熱帯の気候を活かし、広大な農地（プランテーション）でこれらの作物を集散的に生産する形態が発展しました。これは地域の経済を支える一方で、国際価格の変動が国の経済に大きな影響を与えるという側面も持っています。
問2	答え 1 製品の生産コストを抑えるため、労働力が安価な地域へ生産拠点を移しているため	日本の製造業が海外に工場を建てる（進出する）際、最も重視する要素の一つが労働コストです。シンガポールのように経済発展が進み、従業員の平均賃金が高い国では、製品を作るための人件費が高くなってしまいます。そのため、より安価な労働力を求めて、ベトナムやインドネシアといった比較的賃金の低い国々へ生産拠点を移す動きが活発になります。これにより、進出企業数の伸びに差が生まれます。
問3	答え 4 川そのものを神聖なものとして崇めており、水に浸かって罪を洗い流し心身を清める沐浴の場となっている。	ヒンドゥー教徒にとってガンジス川は、女神が地上に降りてきたものとされ、非常に神聖視されています。この川で「沐浴」をすることで、現世の罪が浄化されると信じられており、宗教的な儀式としてだけでなく、人々の生活の一部として深く根付いています。これは宗教が特定の地形や自然環境と密接に関わっている地理的な事例の一つです。
問4	答え 1 一人当たりの国内総生産がタイやマレーシアより低く、安価で豊富な労働力を求めて多くの日本企業が進出した。	ベトナムは1986年のドイモイ政策導入により、社会主義の体制を維持しながら市場経済へと舵を切り、外資を積極的に受け入れてきました。タイやマレーシアなどの周辺国と比較すると、一人当たりの国内総生産はまだ低い段階にありますが、その分労働コストが抑えられるため、多くの日本企業が新たな生産拠点（工場）として進出を強めています。主な輸出相手国にはアメリカ、中国、日本が名を連ねており、世界的な製造拠点としての存在感を増しています。
問5	答え 2 世界生産量の約3割を占める世界最大の生産国であるが、巨大な国内消費のため輸出量は少ない。	2011年のデータによれば、中国の米生産量は約2億トンに達し、世界全体の生産量の約30%を占めています。一方で、同年の世界全体の輸出量約3761万トンに対し、中国の輸出量はわずか49万トンです。これは「生産量は多いが、それ以上に国内で食べる人が多いために輸出に回らない」という、人口大国である中国特有の供給構造を示しています。
問6	答え 1 外国からの直接投資や企業進出を積極的に受け入れることで、工業化を推進している。	ベトナムは、周辺国との経済的な連携を強化するためASEANに加盟し、外国企業の工場を積極的に誘致する政策をとっています。これにより、電気機器や衣類などの輸出が増加し、目覚ましい経済発展を遂げました。他の選択肢にある「ペルシア湾岸の資源国」は中東諸国、「共通通貨の導入」はユーロを採用する欧州諸国、「高地の放牧」は南米のアンデス山脈周辺国（ボリビアやペルーなど）の説明です。
問7	答え 2 多神教であり、牛を神聖な動物として大切にする習慣があり、生活習慣や食文化に強い影響を与えている。	インドの多数派であるヒンドゥー教は多神教であり、牛を神聖視して牛肉を食べないといった食文化上の特徴があります。これに対し、隣国のパキスタンやバングラデシュではイスラム教が多数派となっており、宗教の違いが国家の分離独立や文化的な差異の背景となっています。なお、インド国内で約15%を占めるのはイスラム教であり、仏教はインド発祥ですが現在の信者数は限定的です。
問8	答え 1 共通語として英語が普及していることや、アメリカ合衆国のシリコンバレーとの時差を利用してデータ処理などの業務を効率的に引き継げるため。	インドでは共通語として英語が普及しているため、アメリカ合衆国の企業とのやり取りがスムーズに行えます。また、IT産業の中心地であるシリコンバレーと約13時間30分の時差があるため、アメリカの夜間にインドの昼間を利用して効率よく業務を進めることができます。
問9	答え 4 インド	広大な面積と豊富な資源を保有し、現在は中国と並んでアジアの経済成長を牽引する存在となっています。BRICSは新興経済国のグループを指す呼称であり、その中でもインドは特に人口が多く、将来のさらなる成長が期待されています。
問10	答え 1 インドネシア	江戸時代の日本と唯一交渉があったヨーロッパの国であるオランダは、現在のインドネシアにあたる地域を「オランダ領東インド」として植民地支配していました。この歴史的背景から、インドネシアと日本の長崎は古くから貿易を通じた深い関わりがあります。フィリピンはスペイン（後にアメリカ）、ベトナムはフランスの植民地であった点と区別しましょう。
問11	答え 4 米	タイやパキスタンといったアジアの国々で生産量が著しく多い農産物は米です。アジアの多くの地域は降水量が多く温暖な気候であるため、米の栽培に適しています。